



### マラリヤ病に 對する追憶

増田重作(寄)

當農場カンタガロの開墾は大正八年九月で當時の入耕者は三十余名であつた。同年十一月頃よりマラリヤにかゝる者出で翌年二月六歳の子供死に續いて三名の犠牲者を出したと記憶する。大正九年には在耕者の數も殖えて五十三戸を算し人員百數十名であつたが其うちマラリヤを免れたのはタツタ一名であつたと思ふ其外は全部侵かされ大正十一年、十二年の三年間に死んだ人の數はここに戦慄すべき程多く、毎年三月から四月にかけて最も悲惨の状態を呈し連日あるは三日隔き位には吃度犠牲者が出來、それには吃度犠牲者の墓地の大部分は日本人によつて占られた。それを一時はどの家も豚に飼料をやることなど思ひもよらず、家族の食事さへ比較的輕い者が交替して炊いた程であつた。

斯様な状態であつたから在耕者も怖氣がつき大正十二年には半數となり、翌十三年には又その半數、十四年には又半分になり、其後戸數に於ては變らなかに出入りがあつて現在わづかに六戸、之を在耕年數によつて區別すると、當初より三戸内二戸は犠牲者を出し、次に五年の者二戸内一戸の如き今に至る迄病人の絶え間がない。次いで三年の者一戸あるがこれ又病者絶へず試みに昭和二年中の状態を云ふと、當初より三戸中二戸よりはサンタカ一戸に入院したものであり五年の二戸は長らく病んだ揚句サンタカ一戸に入院三年の者は引續きヒンバに侵され薬價丈けでも四百ミル以上かゝつたと言つてゐる。當地における本病の流行は毎年十二月中旬に始まり翌年の二三月が最も旺んで四月下旬から減少し棉の收穫期に入つて極めて少い。(つゞく)

三月四日(四日間)  
萬人期待の名篇封切

◆至る處大入滿員人氣の焦点  
キング連載吉川英治原作  
美男劍豪片岡千代藏大努力  
メクラグモの稲葉浩監督

萬花地獄 全  
武井龍三、瀬川路三郎、三井榮子、島田菊江、玉木潤一郎  
衣笠淳子 助演  
帝キネ現代劇小唄集の巨  
歌川八重子 主演

安來小唄  
藤間林太郎、吉田豊作 助演  
帝キネ 有聲座

鳥節御料理  
よせなべ類  
天井  
仕出しは迅速配達致します  
平町南町平館隣り  
鰻 魚 榮  
蒲焼 電話四二四番

驚いた!!!  
こうまで安いとは  
平・加納活版所の印刷物

三益玉炭のお奨め

◎無煙無臭火付が早く、火持チ良ク、火力が強く、日常ノにやきニハコナ便利ナ品ハアリマセン。  
◎ソレデ値段ハ大變オ安ク、木炭ノ三分ノ一デ充分間ニ合ヒマス。  
◎ドンナニ喰はずきらいノ人デモ一度使へバ必ず御氣ニ召スノガ此ノ玉炭ノ特長デス。  
◎値段ハ壹箱金貳圓 個數ハ約八百個内外  
◎御申越次第見本持參御覽ニ供シマスカラ御申越下サイ

平 驛 前  
電話二三三七

阿部石炭商店

セメント  
壁用材料  
コールタール  
ペンキ塗料  
板ガラス

磐城セメント株式会社  
代理店 西村屋薬舗  
平町二丁目  
電話三番

二葉印刷所

平町字仲町  
電話七三四番

磐城病院改稱  
市原病院

平町田町(電話二四四番)

内科、小兒科 市原 卯太郎  
外科一般、婦人科 市原 陸郎  
花柳病科 市原 三三男

雨露に晒す程 煙突は

朝日

石綿セメント製  
朝日煙突

絶対に  
ほげない!!!  
やけにくい!!!  
くざりない!!!  
経済的で  
火災の心配がない

特約店 釜屋商店  
電話九三九

肺病助膜 専門薬

不バ錠

▲試用者の感謝と、好評なる賣行きとは其優秀なる効果を立證せり。  
▲故に輕症期に於ける人々よ、直ち服用し以て一刻も早く健康体に復せよ。  
▲則ち本品の現出は、病者を救ふに偉大なる福音なり。  
▲説明書密送す、御申込あれ。

代理店 平町山野邊藥局  
五丁目角

外科専門 X光線科

平町南町  
上田外科醫院  
電話一二九番

流下薬

秘密に譲ります  
月やく止まり心配の人は五ヶ月以内は安心確實に流下し目的を達する當局發賣の強烈特殊薬を用ひなさい。  
◎某店の如く無責任薬は賣らぬ特色あり

高き醫療より安い藥劑師あり  
特に平町田町 宇佐美藥局に

躍進!!!

新發賣の品質優秀なる  
イワキ石鹼

半打入五十錢  
聯合賣出し中は二箱に對し福引券を差上ります

平町 四ツルヤ商店  
電話四十

石版活版印刷  
三國屋印刷所

平町鍛冶町  
電話五三三番

既成物品 勉強

御注文品 勉強

高島屋洋服店

平町田町通り  
電話八七〇番